

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所ちろば教室			公表日 令和7年9月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	利用定員に対し訓練室等のスペースは確保できています。身体を動かす活動は部屋を移動したり戸外活動を取り入れ工夫しています。	引き続き活動に応じた部屋の使い方を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	指定の人員基準を満たしています。	活動内容と目的に応じた人員体制での関わり方を大切にしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		福祉会館、児童館の複合施設であり、スロープも使用可能です。教室内はバリアフリーになっており、視覚的にも分かりやすい環境を設定しています。	引き続き、スタッフ間で話し合い、子ども達に分かりやすい環境づくりをしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	部屋の喚起を常時行い、玩具や室内の清掃を毎日行って清潔に努めている。	引き続き日々の清掃を行い、子ども達の活動に合わせた空間となるよう清潔で心地よく過ごせる環境づくりをしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	落ち着かない時やクールダウンしたい時には、別の場所でスタッフと過ごせる環境になっています。	引き続き、状況に応じた個別の対応ができるよう環境設定をしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	定期的なミーティングや朝のミーティングで情報共有できるように努めています。	勤務時間が違うスタッフへも情報共有の時間がとれるように工夫していく必要があります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	保護者の方からのご意見は必要に応じて職員間で共有し、改善に努めています。	日々の療育の中でも、保護者の方のご意見等伝えやすいような関係性を構築出来るように努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	日々の療育を行う上での意見を出し合って、反映できるようにしています。	必要な検討ができるよう、普段からのコミュニケーションと情報共有の時間がとれるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	令和3年度に第三者評価を実施しました。	今後も行い、業務改善に取り組んでいきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		専門の講師を招いて勉強会の実施や内部、外部研修に参加しスキルアップに努めています。	今後も実践的な研修の計画を立てて、一人ひとりがスキルアップできるように取り組んでいきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成し、ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		保護者の方のニーズを把握し作成しています。	今後もアセスメントを丁寧に行っていきたいと思っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	子どもの発達状況や課題など職員で共通認識できるようにしています。	引き続きよりよい支援が出来るように努めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	日々の記録をする際に支援計画をすぐに見ることが出来るようになっているので、内容を理解し確認しながら支援を行っています。	引き続き、計画をきちんと意識した支援がおこなえるように全スタッフで取り組んでいきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	インフォーマルなアセスメントを丁寧にを行い支援方法を考えています。	引き続きアセスメントの目的、内容の理解をして日々の支援につなげていけるように努めていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	児童発達支援ガイドラインの趣旨に沿って取り組んでいます。	引き続き児童発達支援ガイドラインにそった支援を提供していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	3	常勤職員が中心になって月間プログラム、週案、日々のプログラムを作成しています。実施にあたっては、ミーティングや振り返りを行い、修正や変更を加えながら立案しています。	支援計画と活動プログラムが子どもの状況や課題にあったものであるのか話し合い立案していきたいと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	固定化しないよう活動内容を考えていますが、繰り返し行うことで経験が積み重ねられるような活動も大切にしています。	スタッフ同士意見を出し合いながら、子ども達が色々な経験を出来るように考えていきたいと思っています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	一人ひとりの発達に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しています。	引き続き、スタッフで情報共有していき支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援開始前にはミーティングを行い、スケジュールや支援内容の確認をしています。	引き続き短時間の中で有効に確認ができるよう、ホワイトボードなどで、わかりやすく確認ができるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	その日の支援で気づいた点がある時は振り返りを行い、改善につなげています。振り返りが難しい場合は記録で共有しています。	限られた時間の中で行うので、ポイントを絞って振り返りをして記録も活用していきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	定期的なモニタリングと状況に応じて見直しを行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		必要に応じて参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要に応じて関係機関と連携をとりながら情報共有しています。	今後も関係機関と連携して支援を行っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者を通じて情報を共有したり、必要に応じて併行利用先や移行先、就学先に情報提供をして相互理解を図りました。	引き続き情報共有と相互理解が図れるようにしていきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	2	地域に児童発達支援センターがないので、連携をとることは出来ませんでしたが、発達支援の専門の方から助言を受ける機会を設けています。	地域の事業所等と連携を図りながら、療育の質の向上に努める必要があります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4		年長児が保育園の園庭開放に行ったり教室に保育園の年長児が来てくれて交流を持っています。	今後も交流の機会を持っていきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	日々の送迎時やサービス提供記録（連絡帳）で子どもの状況を伝え合うとともに、行事や懇談会療育見学を通じて、子どもの発達状況や課題について共有できるようにしています。	今後も保護者の方と共通理解が持てるように日々の様子を伝えていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者の方からのアンケートでご家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		児童発達支援計画は保護者の方からのアンケートを基に作成し、面談では支援内容の説明を行い同意を得て支援をおこなっています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	父母の会はないですが、交流がもてるように懇談会や行事等行っています。運動会ではきょうだい同士の交流が図れるようにしています。	今後も行事や懇談会、勉強会など開催し、交流する機会を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月ちいさな便りを発行し、行事の予定をお知らせするとともに、行事ごとに手紙を配布しています。	情報を発信する際は保護者の方にわかりやすく、迅速におこなっていききたいと思います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	個々に応じた配慮をし、分かりやすい言葉で話しやすい雰囲気を作っています。	引き続き取り組んでいきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	老人福祉館、児童館との複合施設であるため、地域住民を招待する行事は難しいですが、自主事業のつぼみ教室を利用しているご家庭には参加できる行事を設けています。また、芋掘り体験やみかん狩り体験を通して地元農業者と交流しています。	今後も地域に開かれた事業を行えるように考えていききたいと思います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	複合施設のため、児童館の安全管理マニュアルや福祉会館の消防計画に基づいて実施しています。教室では毎月1回避難訓練と年1回引渡し訓練を実施しています。災害に備えて非常食も備蓄しています。また、事業所安全計画、傷病時、災害時、不審者発生等のマニュアルを作成し不審者対応等の訓練や研修にも参加しています。	今後も引き続き訓練をおこなっていきます。
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	入園時に確認するとともに、定期的に状況を把握しています。また、服薬の変更があった時には、その都度書類を提出してもらい確認しています。	引き続き、丁寧に確認してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2		入園時に確認しています。現在はアレルギーの子はいませんが、その都度対応してまいります。	引き続き、丁寧に聞き取りをして確認してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画を作成し、日々安全な環境で支援ができるように努めています。	引き続き、安全な環境で支援が行えるよう、スタッフ全員で気をつけてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	東京都からの資料を使い内部で研修をしています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	契約書等に身体拘束について表記し、保護者に説明しています。また、虐待防止・身体拘束マニュアルの作成もしています。	